

『高松市病院事業経営健全化計画(令和3年度～5年度)』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【令和5年度の評価】

令和6年11月12日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画」（以下「経営健全化計画」という。）の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として、平成23年6月に設置され、今年で14年目を迎えます。

今般、令和5年度の経営健全化計画の取組状況の評価を、次のとおり取りまとめたので報告します。

2 評価結果の総括

令和4年2月に策定した第4次経営健全化計画（令和3年度～5年度）において、高松市立みんなの病院では、「病院機能の維持」、「がん医療」、「災害時や感染症に対する医療」、「医師確保機能強化」、「地域包括ケア等の後方支援機能の強化」、「働き方改革の推進」、「経営課題に対する改善施策の取組」の7項目を、高松市民病院塩江分院では、「地域まると医療の推進」を重点取組項目として掲げ、その実現に向けて取り組んでいます。

今回の評価対象となる令和5年度は、評価項目27項目中、「順調」が13項目、「おおむね順調」が14項目という結果になっており、一定の成果が認められました。みんなの病院においては、地域医療の中心として、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行された後においても、一般診療と感染症医療ともに真摯に取り組んでいることを確認しました。その結果は、救急患者の受け入れや効率的な病床管理、患者相談事業の充実、メディカルスタッフの資格取得等の具体的な成果として顕著であることが示されました。塩江分院においては、地域医療を推進し、訪問看護件数、訪問リハビリテーション件数、在宅復帰率が伸びていることを評価します。

高松市の医療水準を維持向上するという当院開設の意義を具現化しつづけるために、単年度資金収支の均衡を目指し、医療ニーズの動向に配慮し、国の医療政策を注視しながら合理的な経営が持続することを期待します。職員の皆さんには、一人ひとりが「市民に信頼され、市民から選ばれる病院」の担い手として取組を継続していただくことを期待します。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、令和5年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行いました。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である	目標を達成した、又は目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	おおむね順調である	目標達成のための取組みを進め、一定の成果が得られた、又は計画期間内に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている	目標達成のための取組みが不十分、又は取組みを進めたものの、具体的成果が得られなかった。
×	かなり遅れている	消極的、又は目標達成のための取組みができていない。
—	評価対象外	新型コロナウイルスの影響により、評価対象の取組みができなかった。

(2) 病院・診療所の評価結果

① みんなの病院

経営健全化計画に係る取組状況については、14項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は8項目、『○(おおむね順調である)』と評価した項目は6項目、『△(やや遅れている)』、『×(かなり遅れている)』、『－(評価対象外)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『おおむね順調である』と評価した割合が全体で100%となりました。

R5年度は、国の政策として取り組んできたコロナ対策に対する資金的補償が打ち切られましたが、コロナ対策の「しながり」として感染患者受け入れ対応を継続したことは特筆すべき取り組みです。他方、救急医療やがん医療といった医療水準をけん引する役割や塩江分院への職員派遣といった地域を支える役割も果たしていることも確認しました。さらには、それを実行する職員の資質向上への取り組みや、将来の医療者を育成する取り組みも実施されていることも確認できました。

計画している取り組みは概ね順調に推移していることは確認できました。その中には経営の効率性や合理性を追求する取り組みも含まれます。しかしながら、コロナ対応という構造的に不採算な要因は、そのような取り組みでは吸収しきれないものであることも確認しました。この損失は病院にとって管理不能な要因によるものであることから、開設者を含め長期的な視点で取り扱いを検討していただくことを期待します。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R5	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	8項目	57%
評価結果『○』とした項目	6項目	43%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
評価結果『－』とした項目	0項目	—
合計	14項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R5 総括 評価	R4 総括 評価	R3 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○	◎	◎
2 医師確保機能の強化	○	○	○
3 メディカルスタッフの確保と機能の強化	◎	◎	○
4 医療安全の強化	◎	○	○
5 医療品質の向上	○	○	○
6 災害医療機能の強化	◎	◎	○
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	◎	○
2 市民との信頼関係の強化	◎	◎	◎
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎	◎	◎
4 地域社会			
1 地域医療連携の強化	◎	◎	◎
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	◎	◎	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	◎	○
総合評価	○	○	○

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、13項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は5項目、『○(おおむね順調である)』と評価した項目は8項目、『△(やや遅れている)』、『×(かなり遅れている)』、『－(評価対象外)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『おおむね順調である』と評価した割合が全体で100%となりました。

全体としての総合評価は『○(おおむね順調である)』としました。
地域人口の減少と高齢化に直面する当院ではありますが、地域包括ケアシステムの実現に向けて、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅者への医療提供を積極的な取り組みを進めていることを確認しました。
このような取り組みが高松市全域を対象とした地域包括システムを構築するうえで一つのモデルとなるよう、これら取り組みで得られた知見を広く提供できるものとなることを期待します。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「委員評価表」に記載のとおりです。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	R5	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	5項目	38%
評価結果『○』とした項目	8項目	62%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
評価結果『－』とした項目	0項目	—
合計	13項目	100%

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	R5 総括 評価	R4 総括 評価	R3 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保に向けた取組			
1 医療技術			
1 地域医療の推進	○	○	△
2 医師の確保機能の強化	◎	○	○
3 スペシャリストの育成	○	○	△
4 医療安全の強化	◎	◎	○
5 医療品質の向上	○	◎	○
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	◎	○	○
2 市民との信頼関係の強化	○	○	△
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	◎	○
4 地域社会			
1 共に支え合う体制の整備	○	—	—
2 医療の透明性の確保に向けた取組			
1 情報発信			
1 情報発信	○	○	◎
3 医療の効率性の確保に向けた取組			
1 効率化			
1 効率化の推進	◎	◎	○
2 管理体制			
1 管理体制の強化	○	○	○
3 一体化			
1 一体化の推進	◎	◎	◎
総合評価	○	○	○